中学部３年「こころとからだの学習」授業実践

『自分のパーソナルスペース』を知ろう

交野支援学校四條畷校中学部
高井　綾子

１．はじめに

これまでに、中学部１年では、身だしなみ・清潔学習・パーソナルスペースについての学習を行った。中学部２年では、まず宿泊学習に向けて入浴学習を行った。また、体の内臓(消化器・心臓)について学習をすることで体の内面についての理解を深めた。自分や友だちの心臓の音を聞いたり臓器ベストを教員がつけて生徒に見せたりすることで自分の体の中を意識する姿が見られた。そして、学年全体で二次性徴についての学習を行い、思春期の体の変化について学習した。また、男女に分かれてそれぞれの性器について学習を行った。男子は、射精が起こる話や好きな人ができるなど思春期についての話を行い、女子では月経の仕組みやナプキンの換え方を学習した。中学部３年になり、修学旅行に向けて中学部２年生より細かい体の洗い方などを学習した上で、再び入浴学習を行った。生徒たちの普段の様子を見ていると、どうしても指導者や友だちと距離が近すぎることが気になっていたので、再びパーソナルスペースについて学習することになった。パーソナルスペースやプライベートゾーンを学ぶことは相手を大切にするだけでなく、自分を守ることにも繋がると考えた。また、昨年度から学習している二次性徴についてより深く学習し、心身の変化を受け入れ、自己肯定感を育てたいと考えた。

２．こころとからだの学習の年間目標

・大切な自分の体を守る。適切な距離感を知る。
・自分が大人の体になりつつあることを学び、成長を実感する。
・自己肯定感を育てる。

３・年間指導計画

《１学期》・入浴学習

《２学期》・「プライベートゾーン」
　　・「パーソナルスペース」

《３学期》・「二次性徴・男女の性器・」
　　・「命の誕生」「妊娠・出産」

４．単元設定の理由

中学部３年生の生徒は、意欲的に授業に取り組める生徒が多い。学年単位での学習で、テレビ画面に映し出されたスライドを見ながら説明を聞く学習であれば落ち着いて取り組むことができる。しかし、全体への指示や説明だけでは理解しにくく、個別に言葉かけが必要な生徒もいるので実態は様々である。

“自分以外の誰かと安心して過ごせる距離”が『パーソナルスペース』であることを知り、自分の『パーソナルスペース』を知って人との適切な距離感を学ぶのが今回の授業のねらいである。『パーソナルスペース』＝腕一本分の距離と基準を教えると分かりやすい。しかし、『パーソナルスペース』とは相手によって距離が変わるものであり、同じ相手でも気分や体調によって変わったり場面によって変わったりするものである。また、同じ日でも環境によってパーソナルは変わる。そのため、今回はあえて基準の距離をこちらからは明確にせず生徒たちのそれぞれの『パーソナルスペース』を掲示してまとめとすることにした。また、パーソナルスペースの前にプライベートゾーンの学習を行った。プライベートゾーンとは、水着を着ているところと口である。そして、プライベートゾーンはとっておきの大切な場所であり、見られたり触られたり見せられたりしたら「いや」「にげる」「報告する」ことを学習した。そして、プライベートゾーンを触られるなどの危険が迫ったときに「いや」「にげる」「報告する」ことができるようにロールプレイを行った。プライベートゾーンを学習したあとでパーソナルスペースを学習することで自分自身も相手も大切にし、自分を守れるようになってほしいと考えた。

６．本時の目標

・プライベートゾーンをしろう。(前回の授業の復習)
・パーソナルスペースとは何かがわかる。
・自分のパーソナルスペースの距離がわかる。

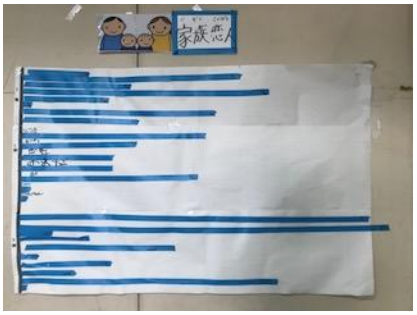
７．本時の略案

時間	内容	準備物・写真
５分	プライベートゾーン(復習) 【発問】プライベートゾーンとは？ **“水着を着ているところとくち”** 【発問】見られたり触られたり、見せられたら？ 「イヤ」「逃げる」「伝える」	プライベートゾーン説明スライド

１０分	・パーソナルスペースとは説明 ・自分以外の誰かと安心して過ごせる距離 〇人によってこの距離が変わる 〇同じ人でも、気分や体調によって変わる 〇同じ人でも、場面によって変わる	・パーソナルスペースとは掲示物 パーソナルスペース説明の様子
４０分	【活動】 みんなで自分の思うパーソナルスペースを考えよう！(生徒も先生も！) 《３つの関係でのパーソナルスペースを計測しよう》 ① 家族・恋人 ② 友達・先生 ③ 知らない人 〈やり方〉 壁に立っている人に向かって歩いていき挨拶する距離で止まる。 →この距離をマスキングテープで示す。 ３つの関係をイメージして計測する。	マスキングテープ３色・模造紙・マジック・ 変装グッズ(③知らない人用) <やり方>説明の様子
１０分	【発表・まとめ】 それぞれのパーソナルスペースを壁一面に掲示して生徒から活動してみて感想を聞く。『パーソナルスペース』とは何か再び確認してまとめとする。	 まとめと感想発表の様子

８．まとめ

マスキングテープを使って一人一人模造紙に貼って視覚化することで、パーソナルスペースが一人一人違うことがはっきりわかった。また、３つの関係によって距離が変わることも視覚的にわかりやすくでた。３つの関係でパーソナルスペースをイメージするのは難しい生徒もいた。①家族・恋人はイメージしにくかった生徒もいると思うが考えて取り組んだ結果、近い距離になっていた。②友達・先生はイメージしやすく、結局平均して片手一つ分くらいの距離になった。③知らない人のときには、変装グッズを使って怖い人をイメージさせたので、遠めの距離になった。精神的に不安度の高い生徒は、極端に遠い距離となった。



① 家族・恋人の結果

上：②友達・先生の結果
下：③知らない人の結果

できあがった掲示物を授業後も教室前に掲示することで、距離感が適切でないと感じた時には掲示物の前に連れていき、その生徒のパーソナルスペースを確認し、パーソナルスペースについて考え直した。適切でないと思われる距離感について考え直すことを繰り返すことで適切な距離感が身についていってほしいと考える。また、人によってパーソナルスペースは違うことが今回の学習で明瞭になったので他人にも配慮できるようになってほしいと考える。